

平成 31 年度使用教科用図書 答申資料（水都国際中学校）

道 徳		東 書（東京書籍株式会社）
総 評		中学生として経験するであろう多くの事象を例に挙げ、人としての心の持ち方などを考えさせることができるよう工夫されている。また、自分の枠を少しずつ大きくしていき、周囲の環境や世界と繋がるような配慮が見られる。
特に優れている点	1 大阪市教育局基本条例・大阪市教育局振興基本計画に基づく観点	○ 3 学年を通して自ら考え、責任を持つという項目が存在し、いじめや、自給自足、性格、スポーツなど多角面から自分自身を分析することができ、自己の判断で進んでいく力を身に付けやすい。③
	2 教育基本法に基づく観点	○ 「かけがえのない生命」というコラムで、生命について考え、自然の恐ろしさと共にその大切さを学び、生命全体、環境保全などに寄与する態度を養うことができるように配慮されている。④
	3 学習指導要領に基づく観点	○ 思いやり、感謝を養うコラムが多数掲載されている。これらを通して、友情や信頼など、新しい教育でめざしていくソフトスキル（人間力）が養成されていく。③
	4 外的要素に関する観点	○ 製本は丈夫で、装丁は生徒に親しみやすく作られている。①
	5 構成・配列に関する観点	○ 学年の進行とともに自分から外へ、浅い観点から深い観点へスムーズに移行している。①④
	6 資料その他に関する観点	○ 図表は非常にわかりやすく、生徒の理解を助けるものとなっている。②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育局基本条例・大阪市教育局振興基本計画	○ 特になし
	2 教育基本法	○ 創造性を培うような内容になっていない。②
	3 学習指導要領	○ 問題解決的な学習にするには、工夫を要する。⑩
	4 外的要素	○ 文字が小さく、量も多いため配慮を要する。③
	5 構成・配列	○ 特になし
	6 資料その他	○ 特になし

平成 31 年度使用教科用図書 答申資料（水都国際中学校）

道 徳		学図（学校図書株式会社）
総 評		内容も生徒にとって身近でわかりやすく、視覚的にも優しくできている。また、情報モラルやいじめ防止など目次の段階で目的としているものが明確なので、生徒が自分の気になる内容を探して読むことができるよう配慮されている。
特に優れている点	1 大阪市教育局基本条例・大阪市教育局振興基本計画に基づく観点	○ 個人として責任をもって行動することや、SNS などを通じた問題も取り扱われており、現在の中学生在が生きていくうえで必要な内容が記載されている。①
	2 教育基本法に基づく観点	○ 各学年に日本の伝統的な建築物や、しくみ、心遣いの内容があり、伝統や文化を愛し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことについて配慮されている。⑤
	3 学習指導要領に基づく観点	○ 発達段階に合わせて、情報モラルについての記載があり、内容も充実している。1 年生ではブログの内容を、3 年生ではホームページ内の著作権に関わる内容があり、現実に即した例が多い。⑪
	4 外的要素に関する観点	○ 目次をはじめ、本文も非常に読みやすく、必要な情報が探しやすい。③
	5 構成・配列に関する観点	○ 学年の進行とともに自分から外へ、浅い観点から深い観点へスムーズに移行している。①④
	6 資料その他に関する観点	○ 扱っている内容が身近で、かつ視覚的にわかりやすく作られている。②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育局基本条例・大阪市教育局振興基本計画	○ 特になし
	2 教育基本法	○ 創造性を培うような内容になっていない。また内容も読みやすいが、コンテンツが多すぎるため、指導には配慮を要する。②
	3 学習指導要領	○ 全体的に良いつくりであるが、生徒が自ら振り返って、自分自身で目標を見つけることは容易ではない。⑧
	4 外的要素	○ 優しい色合のため、メリハリに欠ける。③
	5 構成・配列	○ 特になし
	6 資料その他	○ 特になし

道 徳		教出（教育出版株式会社）
総 評		世界で活躍する方や、病気を克服した方などの素晴らしいロールモデルを多用しており、身近な大人と違った姿から、生徒が自己肯定感を持てる工夫がなされていると感じられる。しかし、生徒が自ら主体性を持って取り組む活動が少ない。
特に優れている点	1 大阪市教育局基本条例・大阪市教育局振興基本計画に基づく観点	○ グローバル化が進む国際社会で力強く生き抜いている人々を紹介することにより、1 つのロールモデルとして生徒に提示できる内容が含まれている。国際平和に関する内容で、世界に目を向けさせることができる。⑦
	2 教育基本法に基づく観点	○ 自他の敬愛と協力を重んずる内容として、病気などによる差別の内容を扱っている。差別に負けず、社会に参画している様子を通し、また別のロールモデルとして生徒が考えることができる。③
	3 学習指導要領に基づく観点	○ 非常に多方面の内容、ロールモデル、実践例等を掲載していることにより、物事を多角的に考えられるようになり、道徳的な判断力を高めるのに非常に役に立つ。③
	4 外的要素に関する観点	○ ユニバーサルデザインで、障がいの特性の有無にかかわらず読みやすく作られている。③
	5 構成・配列に関する観点	○ 学年の進行とともに自分から外へ、浅い観点から深い観点へスムーズに移行している。①④
	6 資料その他に関する観点	○ 身近なことから、世界で活躍する人までバランスよく組み込まれている。①
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育局基本条例・大阪市教育局振興基本計画	○ 豊かな人間性と創造性を備えさせるには、ロールモデルのイメージが強い場合もあり、指導には配慮を要する。⑥
	2 教育基本法	○ 特に男女の平等を強く押し出しているようなものはない。③
	3 学習指導要領	○ 情報モラルに関して、記載が少し弱い。⑪
	4 外的要素	○ 特になし
	5 構成・配列	○ 特になし
	6 資料その他	○ 読み物としてはよいが、資料等から生徒が自主的に学習することができるよう配慮を要する。①

平成 31 年度使用教科用図書 答申資料（水都国際中学校）

道 徳		光村（光村図書出版株式会社）
総 評		身近なテーマをよい切り口で説明したり、訴えかけており、一つひとつの題材の最後に生徒の心に揺さぶりを加える問いがあり、価値観の葛藤を自分のこととして捉えられるようなつくり方に配慮されている。生徒が意見を交換することを通して、意見集約や、新しい価値観を学ぶことができるよう配慮されている。
特に優れている点	1 大阪市教育局基本条例・大阪市教育局振興基本計画に基づく観点	○ 中学生の等身大の内容でありながら、深く考えさせたり気づかせる内容となっており、公共の精神や正義とは何かを考えさせることができる。④⑤
	2 教育基本法に基づく観点	○ 正義についてさまざまな観点から検証できるコンテンツもあり、正義とは何かを自ら考えられる題材がある。③
	3 学習指導要領に基づく観点	○ 友情について考えを深めることができる題材をはじめ、一人一人が内省できるような問いかけが多くあり、その後の生徒が意見を交換する活動に繋ぎやすい。⑤
	4 外的要素に関する観点	○ 製本は丈夫で、装丁は生徒に親しみやすく作られている。①
	5 構成・配列に関する観点	○ 学年問わず、深く内省できるような構成がされている。①④
	6 資料その他に関する観点	○ 生徒が自分自身の意見を交換しやすいつくりとなっている。②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育局基本条例・大阪市教育局振興基本計画	○ 特になし
	2 教育基本法	○ 特になし
	3 学習指導要領	○ 情報モラルに関する題材が少なく、配慮を要する。⑪
	4 外的要素	○ 文字が小さく見える。
	5 構成・配列	○ 情報モラルに関する題材が少なく、やや偏りがある。②
	6 資料その他	○ 特になし

道 徳		日 文 （日本文教出版株式会社）
総 評		内容も身近でわかりやすく、視覚的にも優しくできている。また、情報モラルやいじめ防止など目次の段階で目的としているものが明確なので、生徒が自分の気になる内容を探して読むことも可能である。
特に優れている点	1 大阪市教育局基本条例・大阪市教育局振興基本計画に基づく観点	○ 個人として責任をもって行動することや、SNS などを通じた問題も取り扱われており、現在の中学生在が生きていくうえで必要な内容が記載されている。①
	2 教育基本法に基づく観点	○ 各項目に「プラットフォーム」という取組があり、学習内容や自身の考えを広げることができ、また思考のツールも掲載されており、とても有効である。①
	3 学習指導要領に基づく観点	○ いじめ一つをとっても、いじめをなくす為にということで、法律を載せていたり、段階的に様々な方面へのつながりを示し、生徒の考える領域を広げている。⑬
	4 外的要素に関する観点	○ ユニバーサルデザインで、障がいの特性の有無にかかわらず読みやすく作られている。③
	5 構成・配列に関する観点	○ 学年の進行とともに自分から外へ、浅い観点から深い観点へスムーズに移行している。①④
	6 資料その他に関する観点	○ 身近なものから、世界で活躍する人までバランスよく組み込まれている。①
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育局基本条例・大阪市教育局振興基本計画	○ 特になし
	2 教育基本法	○ 特になし
	3 学習指導要領	○ 全体的に良いつくりであるが、道徳ノートを上手く活用しなければ、生徒の主体的な学習に結びつきにくくなる。⑧
	4 外的要素	○ 題材により行間が異なっており、多少見づらい。①
	5 構成・配列	○ 特になし
	6 資料その他	○ 身近なものはよいが、生徒にとってあまりなじみのない内容については資料面で配慮を要する。②

道 徳		学研(株式会社学研教育みらい)
総 評		題材の設定が学校生活や友人関係のみならず、身近な大人との関係などにも触れられており、生徒にとって共感しやすい内容となっている。また各題材で学ぶべき目的が明示されており、生徒の理解を促すよう工夫されている。
特に優れている点	1 大阪市教育局行政基本条例・大阪市教育局振興基本計画に基づく観点	○ 個人として責任をもって行動することや、SNS などを通じた問題なども扱われており、現在の中学生在が生きていくうえで必要な内容が記載されている。①
	2 教育基本法に基づく観点	○ 自他の敬愛と協力を重んずる内容として、祖母と中学生との年代観のギャップを取り上げ、生徒が大人になったときに新たな気づきを得られるように示唆している。③
	3 学習指導要領に基づく観点	○ 世界で活躍している方のロールモデル、実践例等を掲載していることにより、物事を多角的に考えられるように配慮され、道徳的な判断力を高めるのに非常に役に立つ。③
	4 外的要素に関する観点	○ ユニバーサルデザインで、障がいの特性の有無にかかわらず読みやすく作られている。③
	5 構成・配列に関する観点	○ 学年の進行とともに自分から外へ、浅い観点から深い観点へスムーズに移行している。①④
	6 資料その他に関する観点	○ 身近なものから、世界で活躍する人までバランスよく組み込まれている。①
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育局行政基本条例・大阪市教育局振興基本計画	○ 豊かな人間性と創造性を備えさせるには、ロールモデルのイメージが強いと難しい場合があるので、指導に配慮を要する。⑥
	2 教育基本法	○ 特になし
	3 学習指導要領	○ 生徒自身に考えさせるような問いかけをしているものが少なく、どちらかというとメッセージ性の強いものになっている。⑧
	4 外的要素	○ 特になし
	5 構成・配列	○ 自ら考え、意見を交換できるような配慮が必要である。②
	6 資料その他	○ 非常に有効ではあるが、生徒が考える余裕が少ない。②

道 徳		廣あかつき(廣濟堂あかつき株式会社)
総 評		道徳心を養うために、生徒が興味を抱きやすい身近なことが題材に選ばれており、規範意識を育成できるように配慮されている。また、様々なとらえ方を通して、寛容な姿勢をはぐくむように書かれている。
特に優れている点	1 大阪市教育局基本条例・大阪市教育局振興基本計画に基づく観点	○ インターネットについての題材など、身近な経験などを通して、規範意識を育成できるように配慮されている。②
	2 教育基本法に基づく観点	○ 道徳ノートが各学年についており、教科書の補足をしつつ、自分で学ぶ機会を作り出している。①
	3 学習指導要領に基づく観点	○ 様々なとらえ方を通して、寛容な姿勢をはぐくむように書かれている。⑩
	4 外的要素に関する観点	○ 版も大きく、見やすくできている。①
	5 構成・配列に関する観点	○ 道徳ノートと合わせ 3 年間を見通したつくりになっている。③
	6 資料その他に関する観点	○ 挿絵や写真などは、見やすくわかりやすいものが用いられている。②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育局基本条例・大阪市教育局振興基本計画	○ 生徒が自ら考え、課題を探究するには配慮を要する。⑥
	2 教育基本法	○ 道徳ノートにも題材が掲載されており、授業ですべてを実施するには量が多い。①
	3 学習指導要領	○ 特になし
	4 外的要素	○ 版も大きく、別冊もあることから、全体的に重い。②
	5 構成・配列	○ 特になし
	6 資料その他	○ 生徒が資料に興味を持つことができるようにするには配慮を要する。④

平成 31 年度使用教科用図書 答申資料（水都国際中学校）

道 徳		日 科（日本教科書株式会社）
総 評		全体的に多くの内容を掲載しており、特に資料は大変豊富であり、十分活用できる。一方、それぞれの題材を深く考えさせるには内容が多すぎるため、生徒に道徳性を身に付けさせ、創造性を培うような指導をするには配慮を要する。
特に優れている点	1 大阪市教育局行政基本条例・大阪市教育局振興基本計画に基づく観点	○ 「割れ窓理論」（ブロークンウィンドウ理論）を取り上げることにより、社会的な実証実験とその結果によりある程度証明されている理論を用いて、公共の精神を養うように工夫されている。⑤
	2 教育基本法に基づく観点	○ 非常に多くの情報が掲載されており、幅広い知識と教養を伝えようとしている工夫がうかがえる。①
	3 学習指導要領に基づく観点	○ 「自分自身と向き合う」、「人とのかかわり」、「集団や社会とのかかわり」、「自然や崇高な物とのかかわり」の 4 項目の中に、多くのテーマが構成されている。さまざまな人の努力や気持ちなどを学ぶことができ、「みんな」について考えさせることができたり、新しい発見をたくさんできる工夫がされている。⑦
	4 外的要素に関する観点	○ 版も大きく、見やすくできている。①
	5 構成・配列に関する観点	○ 全体的に集団や社会とのかかわりに重点が置かれており、集団の中での自分の立ち位置から、自分を探っていくという構成になっている。また、巻頭の学習の進め方でも、興味関心、教材理解、話し合い、内向という順序が書かれている。③
	6 資料その他に関する観点	○ 巻末に指導要領との対応表が掲載されており、指導する側も、生徒も道徳という教科の特性を理解することに寄与している。②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育局行政基本条例・大阪市教育局振興基本計画	○ 特になし
	2 教育基本法	○ 創造性を培うような内容になっていない。②
	3 学習指導要領	○ 生徒が考え、自分の考えを基に討論する時間などが、あまり設定されていないため、配慮を要する。⑩
	4 外的要素	○ 文字が多く、またサイズも小さい。③
	5 構成・配列	○ 「自分を見つめる」ことから学習がスタートする流れが妥当だと思うが、「自分を見つめる」ことなく、話し合いが始まり、最後に自分を振り返る構成になっており、指導に配慮を要する。④
	6 資料その他	○ 特になし